

2024 年度

看護師特定行為研修

# 募集要項

領域別パッケージ研修

「在宅・慢性期領域」



独立行法人国立病院機構

## 米沢病院

【指定研修機関番号：2106004】

## 看護師特定行為研修の概要

### 1. 国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。

### 2. 国立病院機構米沢病院の理念

わたくしたちは みなさまの権利を尊重し、患者さん中心の医療を行います。

### 3. 特定行為研修の基本理念

特定行為研修（以下「本研修」という。）は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自立的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療に向けて役割が果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探究する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献していきます。

### 4. 研修制度の趣旨

本研修は、臨床経験を5年以上積んだ看護師が一時的に職場を離れ、医師の手順書に基づいて診療の補助を実践するための専門的知識や技術を習得するための研修です。研修期間については、スキルアップするための研修に集中できるよう、また、就労しながら自己研鑽を効果的に実施することができるように、e-ラーニングを活用した9か月間の研修となっています。

中堅看護師の実践能力のスキルアップとして研修を位置づけることはもとより、チーム医療のキーパーソンとして組織や地域に貢献できるよう、看護専門職としてこれまでの経験を深化させる時間として活用していただけることを期待しています。

本研修では、米沢病院が担う神経難病医療や障害者医療、慢性疾患による長期療養患者を対象とした慢性期医療の現場を活用し、慢性期医療から在宅医療において地域医療機関の看護の質の向上へも貢献することをねらいに、「気管カニューレの交換」「胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」「褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去」「脱水症状に対する輸液による補正」の4区分4行為を必修科目とする在宅・慢性期領域のパッケージ研修としました。

### 5. 米沢病院の特定行為研修の目的・目標

#### <目的>

重症心身障害児（者）ならびに神経難病患者や慢性疾患による長期療養患者を対象とした慢性期医療の現場において、医療安全の確保と患者・家族の意思・安心を尊重した上で、高度な実践能力だけでなく、専門職としての自律・協働・倫理を基盤に自己研鑽を重ね、チーム医療のキーパーソンとして組織で貢献できる看護師を育成します。

#### <目標>

- 1) 多様な臨床場面において、対象の病態と変化を迅速かつ包括的にアセスメントする基本的な能力を身につける。

- 2) 多様な臨床場面において、必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。
- 3) 多様な臨床場面において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施する能力を身につける。
- 4) 自らの看護実践を検証し、判断力・技術力の向上及び標準化するための能力を身につける。
- 5) 患者の最適な医療を提供するために、多職種の専門性を尊重し、協働してチーム医療を実践するための能力を養うことができる。
- 6) 医師の指示の下、手順書により、身体所見、検査所見、画像所見等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、安全に特定行為を行えるようになる。
- 7) 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。
- 8) 医師から手順書による指示をうけ、実施の可否を判断するために必要な知識を学ぶ。
- 9) 実施、報告の一連の流れが適切に行える。

6. 定員 5名

7. 研修期間及び募集時期

研修期間 2024年6月3日(月)～2025年2月28日(金) 募集時期 年1回(3月)

8. 研修受講資格(以下の各号をすべて満たしていること)

- 1) 日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有する者
- 2) 看護師免許取得後、5年以上の看護師実践経験を有する者
- 3) 所属施設長の推薦を有する者(推薦基準を参考にしてください)

【推薦基準】

- ①心身ともに健康で、組織規範を遵守できる
- ②個別性を重視した看護を実践できる
- ③看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる
- ④チームリーダーとしての役割行動がとれる

9. 研修内容と時間数

1) 共通科目

No	科目名	時間数
1	臨床病態生理学	30時間
2	臨床推論	45時間
3	フィジカルアセスメント	45時間
4	臨床薬理学	45時間
5	疾病論・臨床病態論	40時間
6	医療安全学/特定行為実践	45時間
小 計		250時間

\*講義・演習・実習・試験(筆記試験・実習の観察評価)にて構成され、時間数には試験時間を含みます。

\*講義は、SQUE研究会の特定行為研修 e ラーニングを用い、各自で受講します。

\* 演習および実習は集合研修で行い、実習は観察評価を行います。

\* 講義・演習・実習全てを修了後、科目修了試験に合格すると区分別科目を受講することができます。

## 2) 区分別科目：在宅・慢性期領域

履修科目名	特定行為	時間数	その他
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	9 時間	OSCE
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	17 時間	OSCE
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流の内壊死組織の除去	27 時間	OSCE
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	12 時間	
合 計		65 時間	

\* S-QUE 研究会の特定行為研修 e-ラーニングを中心とした講義・演習・実習・試験（筆記試験・実習の観察評価）にて構成され、時間数には試験時間を含みます。

\* 講義は、SQUE 研究会の特定行為研修 e-ラーニングを用い、各自で受講します。

\* 演習および実習（研修室内・臨地）は集合研修で行い、実習は観察評価を行います。

\* 実習は（患者に対する実技）は関連する講義・演習（ペーパーシミュレーション）・手技練習（シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習）を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たして修了となります。

\* 一部の特定行為は臨地実習の前に実技試験（OSCE）を行います。実技試験に合格すると臨地実習に臨むことができます。

\* 臨地実習として、患者に対する実技を特定行為ごとに 5 症例以上経験します。

## 10. 研修修了要件

本研修を修了するためには、次の要件を満たす必要があります。

1) 共通科目を全て履修し、筆記試験および各種実習の観察評価に合格すること。

2) 1) 修了後、区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、各種実習の観察評価に合格すること。

3) 特定行為研修管理委員会における修了判定をもって研修終了とする。

\* 本研修の修了者には、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する特定行為及び同第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、当該受講者に対し速やかに特定行為研修修了証を交付し、当研修機関が研修修了者の名簿を厚生労働省に提出いたします。

## 11. 研修実施日程（予定）

令和 6 年 6 月 3 日（月）	開講式・ガイダンス
6 月 3 日（月）	共通科目受講開始
8 月上旬	① 共通科目筆記試験（前期 3 科目）
9 月下旬	② 共通科目筆記試験（後期 3 科目）

9月下旬	共通科目修了
10月～10月末	区分別科目受講開始（講義・演習）
10月下旬～11月上旬	集合研修（区分別科目の実技試験 OSCE）
11月上旬～1月	実技試験に合格後、臨地実習開始
令和7年2月上旬	臨地実習修了 筆記試験 区分別科目修了
令和7年2月28日（金）	修了式

## 12. 研修経費

### 1) 受講料：領域別パッケージ研修「在宅・慢性期領域」

費目	費用
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	¥385,000-
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	¥550,000-

### 2) その他の必要経費

- ①受講料以外に、学習に必要なテキスト等の書籍費が別途必要になります。
- ②研修のための宿泊及び交通費等は各自実費負担になります。

## 13. 研修場所・実習施設

放送授業による講義：S-QUE 研究会の特定行為研修 e-ラーニングを用い、各自で受講  
（平日は独立行政法人国立病院機構米沢病院教育研修室の使用可能）

集合研修：独立行政法人国立病院機構米沢病院研修室

臨地実習：独立行政法人国立病院機構米沢病院

## 14. その他

### 1) 履修免除について

他の特定行為研修指定研修機関及び S-QUE 研究会® e-learning での学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。出願時に書類の提出が必要となりますので、応募要領をご覧ください。

### 2) 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険に加入してください。

### 3) 集合研修中の宿泊先は研修生で手配してください。

## 応募要領

1. 研修受講資格（以下のすべてを満たしていること）
    - 1) 日本国内における看護師免許を有する者
    - 2) 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有する者
    - 3) 所属施設長の推薦を有する者（推薦基準を参考にしてください）  
【推薦基準】
      - ①心身ともに健康で、組織規範を遵守できる
      - ②個別性を重視した看護を実践できる
      - ③看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる
  - ③ チームリーダーとしての役割行動がとれる
2. 研修期間 令和6年6月3日（月）～令和7年2月28日（金）（約9か月）
  3. 募集人員 5名
  4. 出願期間・試験日・試験科目・合格発表・手続き期間

募集人員	5名
出願期間（当日必着）	<u>令和6年3月1日（金）～3月18日（月）</u>
試験日	<u>令和6年4月18日（木）</u>
試験科目	論文試験（800字程度の小論文）、面接試験
合格発表	<u>令和6年5月8日（水）</u>
手続期間（当日必着）	<u>令和6年5月9日（木）～5月24日（金）</u>

5. 出願手続
  - 1) 出願書類
    - ①受講申請書（指定用紙）
    - ②履歴書（指定用紙、写真1枚）
    - ③志願理由書（指定用紙）
    - ④所属施設長の推薦書（指定用紙）
    - ⑤看護師免許の写し（A4サイズ）
    - ⑥受験票
    - ⑦写真票（写真1枚：サイズ 縦 4.5cm × 横 3.5cm、裏面に氏名記載）
    - ⑧科目免除を申請する場合提出
      - ・ 既修得科目履修免除申請書（様式6）
      - ・ 特定行為研修修了証の写し
    - ⑨ 返信用封筒

## 2) 審査料 20,000 円

- (1) 納入は、銀行振り込みとします。振込手数料はご依頼人の負担となります。
- (2) 志願者本人の氏名で下記の銀行口座に振込をして下さい。

振込先：銀行

○支店 普通口座 口座番号 (別途連絡します)

口座名義 独立行政法人国立病院機構米沢病院

口座フリガナ トク、コクリツビョウインキコウ

振込者氏名(志願者氏名)の前に必ずトク)を記入(入力)

〔例〕 トク) ヨネザワ ハナコ

- (3) 振込の証明となる明細票もしくは受領書を出願書類に同封してください。

## 3) 出願書類の書き方

### (1) 受講申請書：指定用紙(様式1)

- ①「申請者氏名(ふりがな)」は、本人が署名し押印してください。

### (2) 履歴書：指定用紙(様式2)

- ①年齢は、令和6年4月1日現在で記入してください。
- ②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。
- ③一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。
- ④職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。
- ⑤写真は6か月以内に撮影したもの(縦45mm×横35mm 上半身・正面・カラー写真、裏面に氏名記載)を貼付してください。

### (3) 志願理由書：指定用紙(様式3)

- ①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。

### (4) 推薦書：指定用紙(様式4)

- ①推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。
- ②「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。
- ③推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

### (5) 看護師免許証の写し

- ①看護師免許(原本)をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

### (6) 受験票：指定用紙

- ①氏名(ふりがな)、生年月日を記入してください。

### (7) 写真票：指定用紙

- ①「履歴書」に使用した同じ写真を貼付してください。
- ②氏名(ふりがな)、生年月日を記入してください。

### (8) 科目免除を申請する場合

- ①既修得科目履修免除申請書(様式6)
- ②特定行為研修修了証の写し

### (9) 返信用封筒：指定封筒

- ①受験票送付封筒（所定封筒）に受験者の住所、氏名及び郵便番号を記入し、速達郵便額相当分（362円）の郵便切手を貼ってください。封筒の送付先は、受験者に確実に届く住所を記入してください。

#### 4) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵送又は持参してください。  
封筒の表の左側に、「特定行為研修」と朱書きしてください。

#### 5) 注意事項

- (1)試験日の3日前になっても受験票がお手元に届かない場合は、下記へお問い合わせください。  
独立行政法人国立病院機構米沢病院 特定行為研修事務局 電話（代表）0238-22-3210  
(2)一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

#### 6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

#### 7. 試験会場及び時間割等

##### 1) 試験会場

独立行政法人国立病院機構米沢病院 大会議室

##### 2) 時間割

試験日：令和6年4月18日（木）

時間	内容
9:00～9:30	受付
9:30～9:45	オリエンテーション
9:45～10:45	小論文
10:45～11:00	面接オリエンテーション・休憩
11:00～終了まで	面接（原則、受験番号の早い順で計画）

##### 3) 試験時の注意点

- (1)試験中は携帯端末の電源を切って、カバンに入れてください。  
(2)試験中は、係員の指示に従ってください。  
(3)病院駐車場を利用したい場合は、事前にご連絡ください。

#### 8. 試験に持参するもの

- ①受験票  
②筆記用具（HB又はBの鉛筆・シャープペンシルをご準備ください。）

#### 9. 合格発表・入講手続

##### 1) 合格発表日：令和6年5月8日（水）

- (1)病院ホームページに午前10時に合格者受験番号を掲示します。  
(2)同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。  
(3)電話での合否の問い合わせには応じられません。



## 10. その他

- 1) 提出された書類により得られた個人情報は、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。
- 2) 入学決定後、実習における医療安全のため、「看護師賠償責任保険」の加入確認をさせていただきます。

## 11. 募集要項の請求等

- 1) 米沢病院センターのホームページから、出願願書「見本」様式3、様式4をダウンロードできます。  
<https://yonezawa.hosp.go.jp/care.html>
- 2) 郵送による請求方法は、下のメールアドレスに必要情報を入力し、請求してください。  
送付先「郵便番号、住所、氏名」を正確にお願いします。病院から折り返し、郵送を致します。

## 12. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

〒992-1202 山形県米沢市大字三沢 26100-1

独立行政法人国立病院機構米沢病院 特定行為研修事務局 受講審査係

電話（代表）：0238-22-3210

\* 祝祭日を除く月～金曜日の9：00～17：00までにご連絡ください。

E-mail：118-shomu1@mail.hosp.go.jp